

# 健康と医療

神田医師会

千代田区神田小川町2-8 TEL 03 (3291) 0450

## ●●● C型肝炎、完治の時代が到来！ ●●●

2011年新薬の登場により、不治の病であるC型肝炎が飲み薬だけでほぼ100%治るようになりました。今回はそのお話です。

C型肝炎は、C型肝炎ウイルス（HCV）の感染によって起こる感染症の一種です。血液を介して感染します。現在感染している方のほとんどは過去の輸血や注射が原因ですが、最近では約30%の方が医療行為以外の針の使用（刺青、ピアスの穴開け、カミソリ）により、また稀に性交渉により感染しており、日常生活の注意が必要です。

### C型肝炎の経過

HCVは体内に入ると肝細胞の中に潜み増殖します。これに対し体の免疫機構はHCV抗体を作り出し、肝細胞ごとウイルスを攻撃します。これが肝炎です。長い間この攻撃が繰り返される（慢性肝炎の状態）と、やがて戦場である肝臓は焦土化（肝硬変）し元には戻らなくなり、更に進行すると肝不全となり死に至ります（図1）。また途中で肝癌が発生し死期を早めることもあります。

C型肝炎ウイルスに感染すると、ゆっくり肝炎は進行し、慢性肝炎 → 肝硬変 → 肝不全になります。

また途中で肝癌が発生する場合があります。

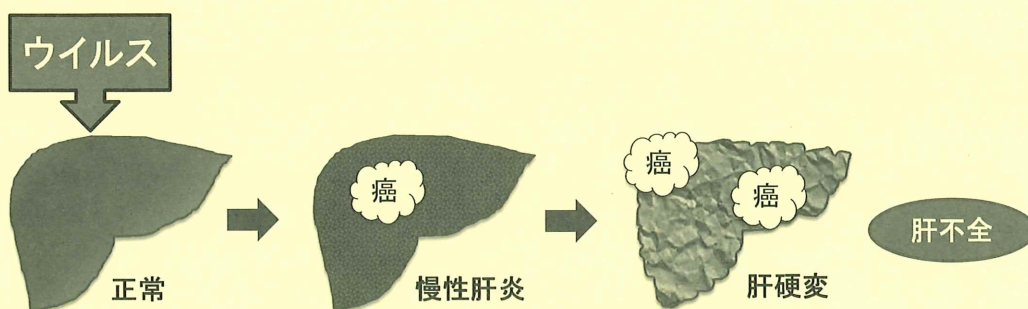


図1 C型肝炎の経過

## 肝硬変に近いほど発癌率が高くなります

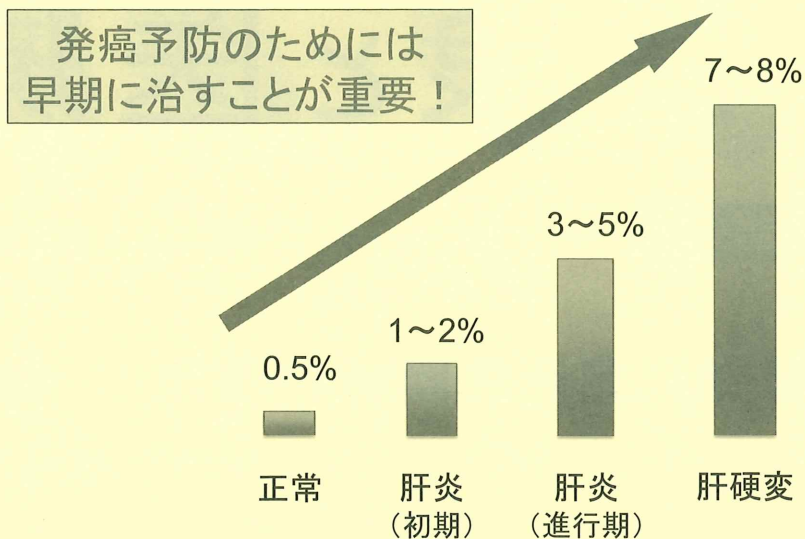


図2 C型肝炎・肝硬変の発癌率 (年率)

肝癌の発生率は肝硬変に近づくほど高くなり、肝硬変になると年率約7%、10年で約70%の方が癌にかかってしまいます。いかに早い段階で治療するかが、発癌予防の観点から重要になってきます (図2)。

### 新しい治療

私が医者になった20数年前は、C型肝炎の治療はインターフェロンという副作用の多い、苦しい注射治療しかありませんでした。1年間この苦しい治療を続けても、約1割の患者さんしか治らず非常に悲しい思いをしたものです。しかし2011年、ウイルスに直接作用するDAA (Direct-Acting Antiviral) という新薬の登場により状況は一変しました。2~3カ月内服するだけで、なんと100%近くの治療効果があります。しかも副作用はほとんどなく、入院の必要もありません。まさに夢のような治療薬の登場です。

### 現在の問題点

しかし問題もあります。前述のようにC型肝炎

炎は無症状で進行するため、実は多くの方が自分が感染していることに気づかず、早期の治療機会を逃してしまっているのです。

厚労省の試算によると、現在国内には約100~150万人のHCV感染者がいるとされますが、その中の半数以上である、約50~100万人の方が自分が感染していることを知らず、もしくは知っていても症状がないため治療を受けていない状況です。

C型肝炎にかかっているかどうかの検査は、国の補助により無料で受けられますので、まだ検査をしたことがない方は一度は検査を受けることをお勧めいたします。またDAAによりウイルスが消失すると、完治したと思い込んでしまう方が多いのも問題です。ウイルスが消失したあとも肝癌発生の可能性は残りますので、ウイルスが消失しても完治したと誤解せず、定期的な受診を心掛けてください。

(駿河台診療所 院長 塩澤 宏和)